

全校講演会

令和3年11月18日

11月18日5時間目に、各界でご活躍の本校の卒業生にお話しいただく、全校講演会を開催しました。今年は、山中伸弥教授の研究室でiPS細胞の研究に携わってこられた青井貴之先生にお越しいただきました。

演題：「医療にまつわる科学と私たちと」

講師：青井 貴之 先生（本校44回生、ラグビー部OB）

神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科先端医療学分野教授・医学研究科内科系講座 iPS細胞応用医学分野教授

青井先生は、神戸大学医学部を卒業後、臨床医としての勤務を経て、京都大学医学部研究科博士課程で、消化器内科学分野の研究をされました。平成17年からは、大学院生として山中伸弥教授の研究室に入られ、その後研究員としてiPS細胞の研究に携わってこられました。平成21年には、京都大学iPS細胞研究センターで教授。平成25年からは、神戸大学大学院で教授としてお勤めです。

iPS細胞については、頻りにマスコミでも取り上げられており、例えば「再生医療の期待の星」と言われたりもしています。

今回のご講演では、先生の高校時代から現在にいたる歩みをご紹介いただきながら、科学とはどういうものなのか、私たちは科学とどう関わっていくべきなのか、どう生きていけばいいのか、ということについて「繋がる」「共有する」というキーワードを交えてお話しくださいました。

青井先生、大変お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

